

第4回NIPT等の出生前検査に関する専門委員会	参考 資料4
令和2年1月15日	

# 産科超音波検査における説明と同意 ～千葉市立青葉病院の取材から～

2021年1月15日 NIPT等の出生前検査に関する専門委員会追加資料

出産ジャーナリスト

河合 蘭

## 千葉市立青葉病院産婦人科の「説明と同意」推移

- 英国FMF(The Fetal Medicine Foundation)で胎児超音波検査の専門的な訓練を受けた林伸彦医師の入職
- 通常超音波検査で告知を迷う胎児異常が相次いで偶発的に見付き、告知の在り方についてカンファレンスが重ねられた。
- 倫理委員会承認のもと、2020(令和2)年より説明資料を作成し、妊婦全員に超音波検査についての「事前説明と同意」を開始。詳しい検査を希望する妊婦に対する初期・中期胎児精密超音波検査・初期血清マーカー検査(コンバインドテスト)の試験的实施。説明や検査を受けた妊婦を対象としたアンケート調査実施。
- 2021(令和3)年1月、胎児精密超音波検査の外来の正式スタート

# 各種超音波検査 説明書・同意書

産婦人科

2020年 前期  
(1月～6月)

## 当院の産科超音波検査について

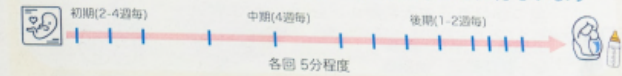


### 精密検査を受けるかどうかを考えるために

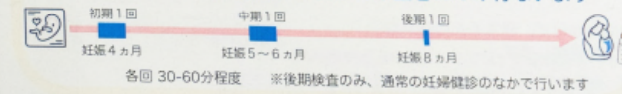
このリーフレットは、青葉病院における妊婦健診で行なう超音波検査に関する情報を提供するものです。妊婦さんご本人やパートナー、ご家族の不安や疑問を軽減し、正しい理解のもとで検査を受ける（あるいは受けない）ことを決めていただくことを目的に作成しました。

妊娠中の超音波検査には、  
「通常超音波検査」と「精密超音波検査」があります。

### 通常超音波検査：妊婦健診のなかで、全妊婦さんに行ないます



### 精密超音波検査：妊婦健診に加えて希望者にのみ行ないます



### 私はどうしてこのリーフレットを渡されたの？

このリーフレットは、年齢や生活環境などにかかわらず、妊婦さん全員にお渡ししています。わたしたちは、決して出生前検査を勧めているわけではありません。わたしたちは「知らない権利」を大事にしており、希望がない限り、むやみに生まれつきの病気を見つけることはしないようにしています。個々のご家族が、生まれるまえにご自分で知りたいか、あるいは知りたくないかを事前に確認しておくことで、適切な時期に適切な情報をお伝えする目的で、このリーフレットをお渡ししています。

ご不明点は、いつでも産婦人科スタッフにお尋ねください。

## 説明書の内容

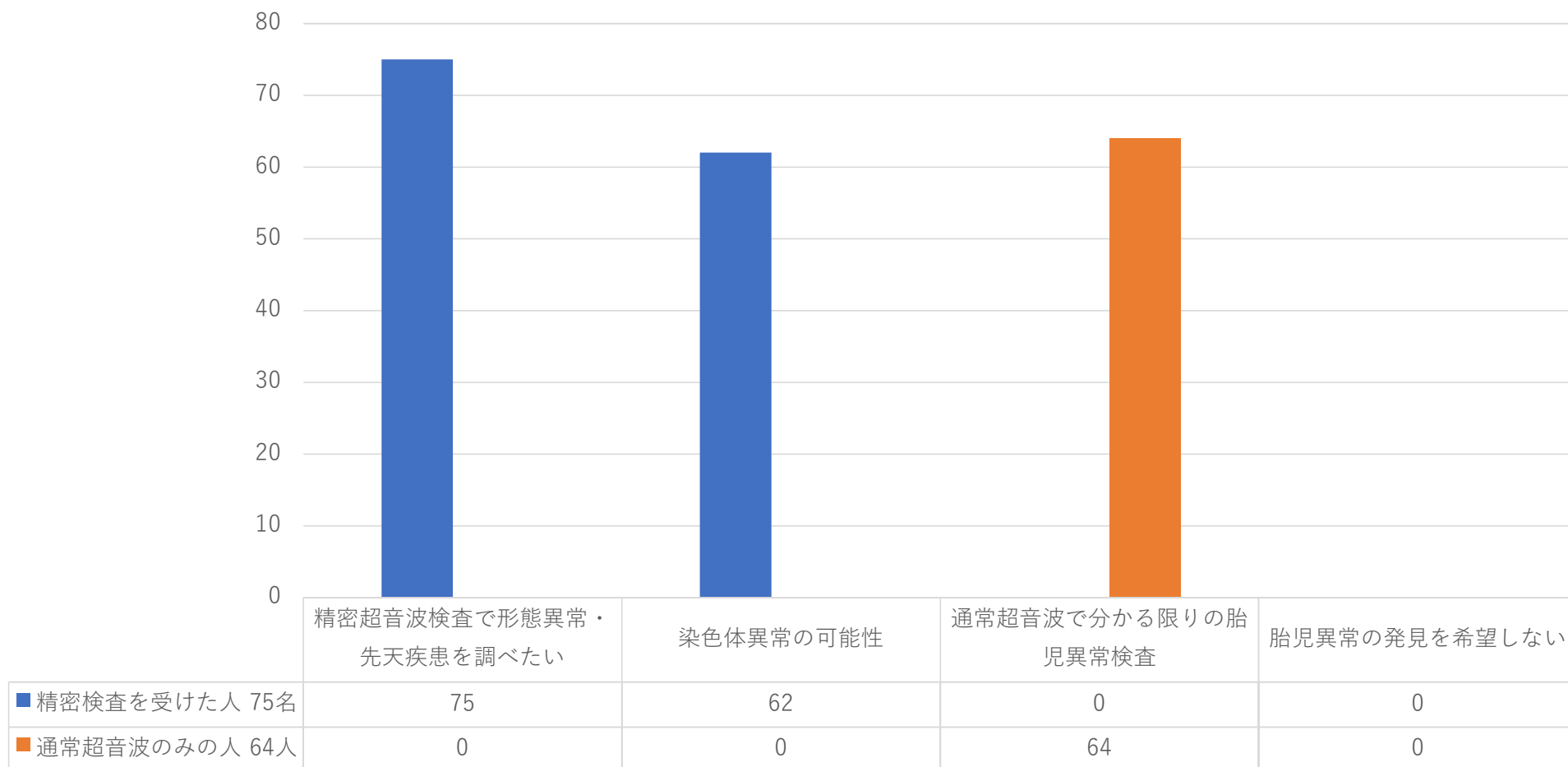
- 説明のタイミングは胎児心拍が確認された時。
- 全員に渡していることを明示。
- 「知る権利」も「知らない権利」も守るという方針を明示。
- 胎児期に診断されることの「医学的意義」を伝えている。
- 検査の流れ
- 検査の限界
- 他施設(大学病院、子ども病院、NIPT認可施設)との連携
- 胎児異常が見つかった場合の精神的サポート(院内のリエゾン看護師や助産師、同じ経験をしたご家族のピアサポート、患者家族会との連携)



妊婦は次回の健診でどこまで検査したいか、知りたいかを回答する

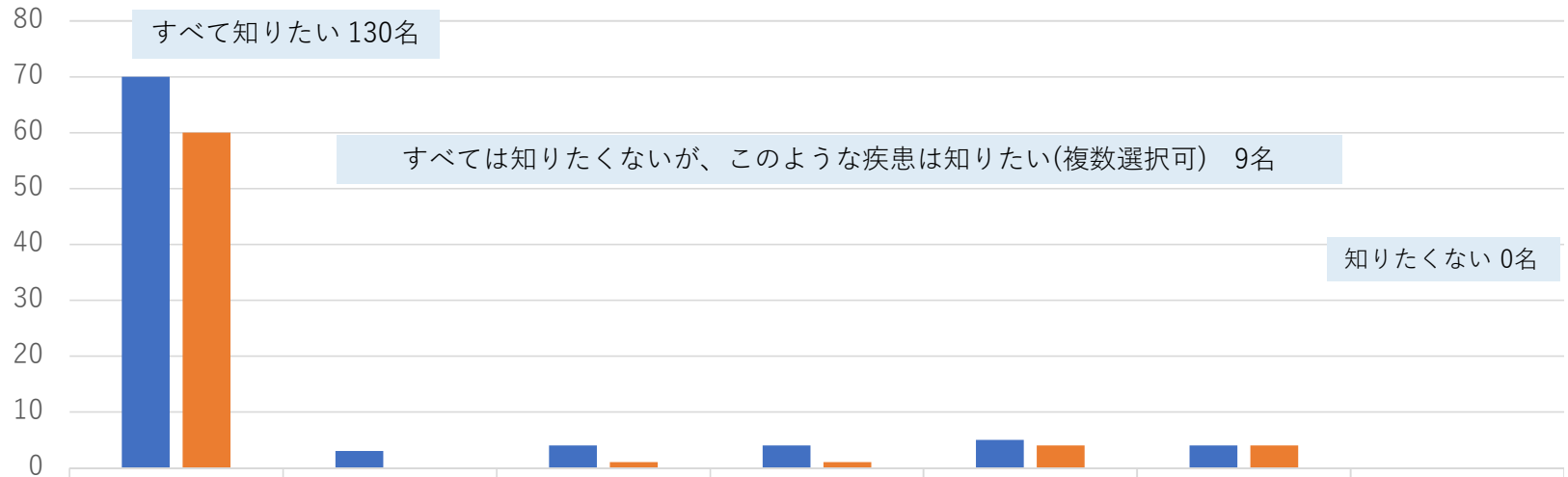
# どの程度の検査を希望されますか？

説明と同意書 回収数139 2020年1月～12月回収分



# 赤ちゃんの情報をどこまで知りたいですか

説明と同意書 回収数139 2020年1月～12月回収分

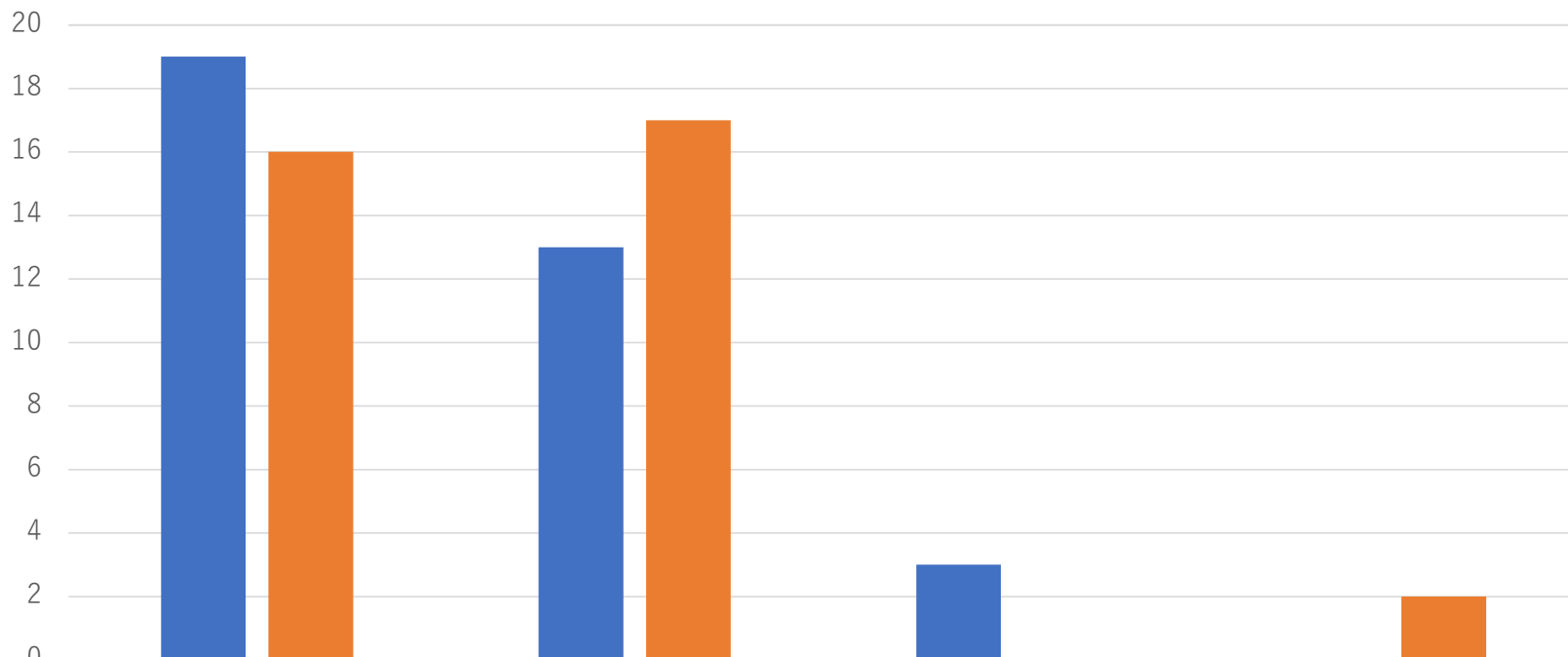


	可能性も含めて すべて知りたい	生後にわかる命 にかかわらない 外表奇形(口唇 裂・内反足など)	妊娠中に問題な く生後に治療等 が必要な異常(尿 路狭窄など)	染色体異常や遺 伝子異常(ダウン 症候群など)	妊娠中、または 生後直ちに治療 することで赤 ちゃんを助ける ことが可能な疾 患(重度の心奇形 など)	救命が難しいと 考えられる疾患 (無脳症など)	赤ちゃんの異常 についての情報 は一切知らせて ほしくない※
■精密検査を受けた人 75名	70	3	4	4	5	4	0
■通常超音波のみの人 64名	60	0	1	1	4	4	0

※出生直後に治療が必要な疾患が疑われ青葉病院での対応が難しい場合、赤ちゃんの生死にかかわる疾患は伝える。

# 説明資料についてどう感じましたか(複数選択可)

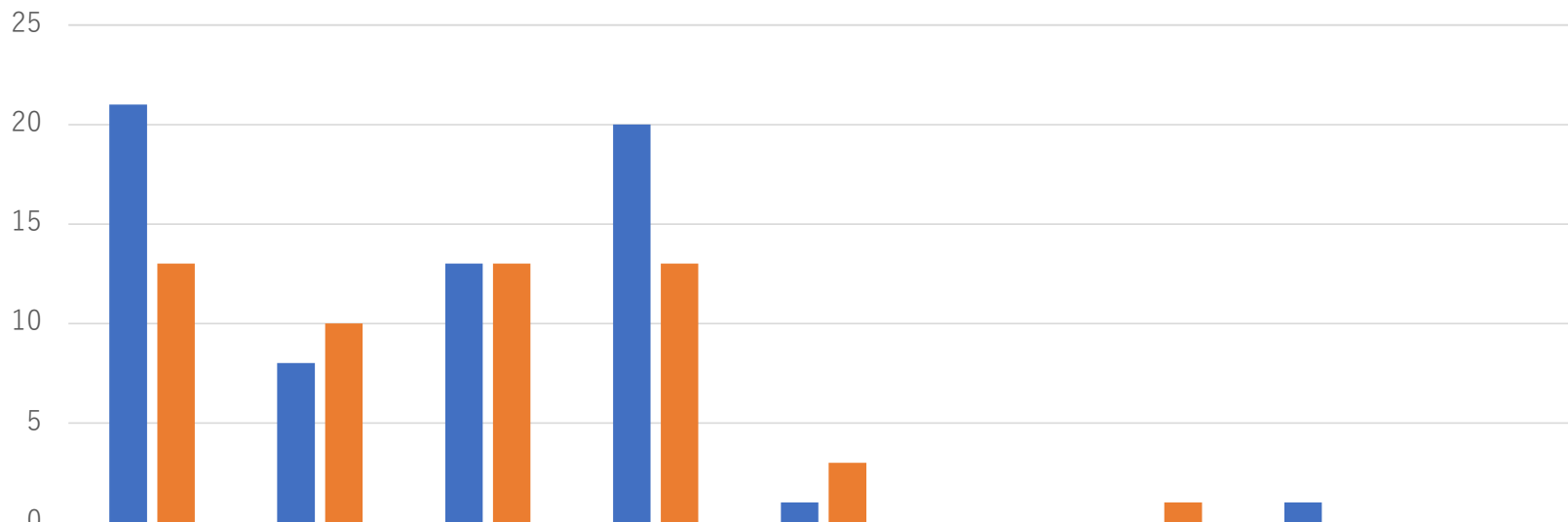
説明を受けた人へのアンケート 回収数50



■ 精密検査を受けた人 26名	19	13	3	0
■ 通常超音波のみの人 24名	16	17	0	2

# 産科超音波の説明があったことをどう感じましたか (複数選択可)

説明を受けた人へのアンケート 回収数50



	検査の目的や限界を知った上で検査を受けることができた	検査、医療行為にはきちんとした説明があるべきだと思う	検査や告知の程度について、自分たちの思いで決めることができた	説明を聞いて安心した	説明を聞いて不安になった	妊娠の嬉しい気持ちがそがれた	説明に時間がかかった	出生前診断をすすめているように感じた	詳しい説明を受けずに妊婦健診を受けたかった
■ 精密検査を受けた人 26名	21	8	13	20	1	0	0	1	0
■ 通常超音波のみの人 24名	13	10	13	13	3	0	1	0	0



## まとめ

- 「説明を聞きたくなかった」という人は50名中0名。
- 胎児異常をまったく知りたくない人は139名中0名。
- 「妊娠中の発見で赤ちゃんを助けられる病気」など一部の病気だけを知りたい人が少数いる。
- 説明と同意は好感を持たれていて、安心感が増していた。  
自由記述には「良くない結果が出た時の覚悟が出来た」「夫婦で話し合った」などの記述があり、夫婦がお腹の子どもとしっかり向き合いながら同意書を記している様子がうかがわれた。





















